

「オール北九州で健康(幸)寿命を延伸する」

— 元気でGO!GO! プラス2歳へスクラムトライ! —



本市では、平成 24 年度に策定した「北九州市健康づくり推進プラン」(計画期間：平成 25 年度～平成 29 年度)のもと、「すべての世代が地域のつながりの中で、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現を目指し、市民の自律的・主体的な健康づくり活動の支援」に取り組んでまいりました。

これまでの本市の健康づくり政策については、市民の皆様から高い評価をいただいております。平成 29 年度の市民意識調査における市政評価では、「以前に比べてかなりよ

くなっている」の第5位に「健康づくりの推進」が選ばれています。

一方で、本市では、塩分やアルコールの摂り過ぎ、野菜の摂取不足などによる高血圧症などの生活習慣病有病者が多く、また、がん検診の受診率も他の政令市と比較して低い状況にあります。

このことが、本市の健康寿命が全国平均より約2歳短いことの要因のひとつではないかと考えられています。

併せて、世代や職場、加入保険などの違いによる健康格差、健康関心層と無関心層の二極化等も明らかとなってきました。

これからの超高齢社会に対応した持続可能で、真に活力ある社会を実現するためには、これらの課題を克服するため、健康に関する教育のあり方や、高齢者の就業等についても幅広く検討していく必要があります。

そのような中、この度、平成 30 年度から5年間の「第二次北九州市健康づくり推進プラン」を策定いたしました。

本プランは、これまでのプランの基本理念を引き継ぎながら、本市の現状や課題を踏まえた新たな視点、更に強化すべき点などを整理・反映させたものとなっています。

また、本プランの推進にあたっては、これまで以上に、企業や保険者団体、医師会、歯科医師会、薬剤師会、NPO、地域ボランティア、福岡県など様々な関係機関、団体の皆様と力を合わせ、市内部においても部局間連携の充実・強化を図りながら、「オール北九州」の体制で取り組んでまいります。

医療の発達などで平均寿命が延び、高齢になっても元気に活躍されている方が増えてきたことから、最近では、「人生100年時代」という言葉も耳にするようになりました。

健やかな体と康らかな心を保ち、幸せな「人生100年」を生涯現役で元気に活躍するためには、「健康(幸)寿命の延伸」に取り組むことが重要であることは、言をまちません。

市民の皆様一人ひとりが健康意識を高く持ち、市全体の健康づくりの機運を高め、健康(幸)寿命の延伸に向けて元気にスクラムトライしていきましょう。

北九州市長 北橋 健治